

第5回動植物園施設整備計画策定に関する意見聴取委員会 議事録（要旨）

1. 日時

令和2年（2020年）2月2日（日） 14:00～15:00

2. 場所

熊本市動植物園 動物資料館レクチャールーム

3. 出席委員

伊藤委員（委員長）、石黒委員（副委員長）、庄田委員、田村委員、吉本委員、来住委員、原委員

4. 配布資料

熊本市動植物園マスタープラン（素案）に係るパブリックコメント後の素案の修正について（案）

動植物園マスタープラン（概要版）

動植物園マスタープラン（素案）

5. 次第

（1）開会

（2）動植物園長挨拶

（3）議事

- ・動植物園マスタープラン（素案）に係るパブリックコメントの結果及び対応方針について

（4）総括

（5）閉会

6. 議事録

（3）議事

- ・動植物園マスタープラン（素案）に係るパブリックコメントの結果及び対応方針について

委員長	【事務局からの資料(熊本市動植物園マスタープラン(素案)に係るパブリックコメント後の素案の修正について(案)及び動植物園マスタープラン(概要版・素案))の説明】 ありがとうございました。それでは、パブリックコメント
-----	--

	<p>を受けてマスタープランが修正されているところ、あと、主なご意見をご説明して頂きました。まずは、パブリックコメントの対応方針と、前回までの意見聴取委員会の意見を踏まえて修正された、素案に関して、委員の皆様からのご意見を頂けますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>パブリックコメントの中で、夏季や冬季の閑散期対策として、イベントを実施するというのですが、閑散期になる理由としては、暑い寒いそれが理由なののでしょうか。子どもたちにとっては、夏休み・冬休みという休暇期間に入り、来園しやすいタイミングになるのかなと思うのですが、やはり、暑さや寒さにはかなわない状況なののでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>これまでの傾向を見ますと、暑い時期、寒い時期に関しては、来園者が減る傾向がございます。イベントをすることも、ひとつの対策であり、閑散期対策すべてを解消するとは考えておりません。何もないよりも、何かイベントなどの楽しみがある方が、ご来園頂けるだろうということで、1つの対策として打ち出しているところです。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。ほかにご意見はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>パブリックコメントの主なご意見としてあげられている、第3章 9「驚きと新たな発見！いきものミュージアム」の中に、「スマホで情報を見られるようにしてほしい」というものと、前回の意見聴取委員会の中で、私からご意見を述べさせて頂いた中で、「インバウンドのために案内を工夫してほしい」というものも、事業実施の中で検討頂けるというお話を頂いたところです。プランとしては、情報提供のあり方をしっかりしたほうが良いのではないかと考えていまして、このプランには、情報提供の項目が一つもないので、そういった部分もあるべきなのではないかと思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>情報提供というのは、看板などを指すのか、それともリアルタイムの情報というものなのか。どのようなものなののでしょうか。</p>

副委員長	<p>今市政だよりに、動植物園だよりが掲載されています。それから、地元メディアも、いろいろ取り上げてくれています。そういうところも、情報提供、PRになると思います。これらの取り組みは、ぜひ続けて頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>素案の中にも、素案P51に広報戦略という位置づけで、記載しております。こういった広報戦略の中で、ご提案頂きました、スマホの活用やアプリなどは具体的な施策として、取り組みたいと考えています。</p>
委員長	<p>今、情報提供という観点のところは、違っているような気がするのですが、教育なども含めた観点だと思います。</p> <p>ここが、今日の中で、一番大事ではないかというところがあって、情報提供を具体的にやる中で、誰が作るのかということになります。当然専門家が関わったうえで、実施する必要があると思いますので、すごく重要ではないかと思います。現在、動植物園では看板の内容や教育の情報発信はどの部署が対応されていますか。</p>
事務局	<p>基本的には、飼育担当者もしくは、それを統括する主査の方で対応しており、情報の正確性を確認して、発信するようにしています。あとは、動物資料館も情報発信の拠点ですが、こちらも、飼育担当部署になります。</p>
委員長	<p>博物館が熊本市にはありますが、そちらのスタッフにお手伝い頂くということは、将来を含めてあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>考えられることだと思います。今現在でも、生物多様性に関することについて、市の内部で、環境共生課、動植物園、熊本博物館、環境総合センターの4課連携の取り組みを進めています。是非その枠組みを積極的に活用していきたいと思っています。</p>
委員	<p>やり方はいろいろあると思いますので、そこについては、このマスタープランの素案を作るときに、論じるころでは</p>

事務局	<p>ないと思いますが、このプランの中に、「動植物園に関する情報を積極的に発信して行きます。」というものがあれば、完成するのではないかと思います。</p> <p>素案P36になりますが、ここに学習プログラムの整備を掲げさせて頂いております。動物資料館の重要性であるとか、学習プログラムの充実などは、動植物園に必要不可欠であると思っております。先ほど、スマホなどを使った具体的な手法をご提案頂きましたけれども、この中で検討できればと思っております。</p>
委員長	<p>ほか、ご意見はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>今一部の施設においては、通信事業者さんが主体となって、動物園の情報を発信するアプリケーションを開発されていますので、ゼロから作るということではなくて、既存にあるものをうまく使っていくことも検討する必要があると思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。先駆けてそういうシステムを取り入れている園もあるかと思いますので、具体的に進めていく際には、他園の状況も参考にしながら、検討を行っていきたいと思います。</p>
委員長	<p>その他ご意見はございませんか。</p>
委員	<p>アプリなどに頼りすぎずに、子供たちからご年配の方たちが、実際動物園にきて生態を学ぶという手法はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>今現在このプランの中では、植物と動物とを一体的に展示をして、生息地により近いような風景を見せるという取り組みを考えておりますし、各飼育担当者のガイドを中心に、生態などを伝えることで、学習につなげております。これらの基本的な取り組みは、継続して進めていくべきであると考えています。それを踏まえ、アプリの活用というものも検討す</p>

<p>委員長</p>	<p>ることで、より充実するのではないかと考えています。</p> <p>アプリなどのスマートフォンについては、例えば動物園で見ることができない、野生の状態を見せて比較するであるとか、看板に書いてしまうと、簡単に変更ができなくなってしまうので、看板に書くことができないような情報を提供するなどに使うことが多いのではないかと思います。あくまでも、動物園で見て頂くということは前提の上で、ハードとソフトを一緒に考える必要があるのかなというところは、強く思うところです。恐らくこの先、動植物園の生き残りの肝となっていく部分ではあるのかなと感じております。</p> <p>では、このことについては、またご意見があれば、後ほどご意見を頂くとして、このほかのご意見はございませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>動植物園の存在をもっと広げる必要があると思います。例えば、上通や下通のアーケードの天井に広告を設置することはできないのでしょうか。あと、熊本駅のコンコースにもポスターを貼ったりできないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>その点については、予算面での状況もあり、現在は、パブリシティを獲得することで、広く広報をさせて頂いている部分もあります。また、独自には、ホームページやSNSを活用して展開している部分もございます。まだまだ不足している部分もあると思っておりますが、できることから取り組んでまいりたいと考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>認知度に関して思ったことは、コンテンツが重要であって、認知度が高いよりも、行きたいなと思ってもらえるような、魅力的な動植物園になる方がいいのかなと思っております。</p> <p>広報の方法ももちろん大事だと思いますが、この10年間で、先ほどの教育も含めて、いかにコンテンツが膨らんでいくかという1点ではないかと思います。動物の状態が良くなければ、広報を行っても仕方がない部分もあります。</p> <p>そのほかにご意見はございませんでしょうか。</p>

事務局	<p>皆様ご承知のとおり、委員長がスコットランドに行かれて、その動物園の事例を調べてきて頂いております。意見聴取の場の参考にもなると思いますので、委員長より事例のご紹介をお願いできればと思います。</p>
委員長	<p>～スコットランドの事例紹介～ 動物園における動物の福祉と教育に関する取組みについて</p> <p>今の事例も含めて、ご意見ご質問があればと思います。</p>
委員	<p>小学生のグループで園内を見て回りながら、解説するような取り組みはないですか。</p>
事務局	<p>現時点で対象を、何年生にするなどの対象年齢に応じたプログラムなどはありません。サマースクールなどで、年齢に応じた階層ごとのプログラムを用意して、体験や解説などを行いながらプログラムを実施していますが、学びたいと思ったときに、それができないという状況で、十分でないというところがあります。今後学びの部分に関しては、強化する必要があると考えています。</p>
委員長	<p>あとは、子どもたちだけではなくて、大人が勉強できるということも大切だと思います。それは、動植物園だけに任せるのではなくて、私たちのような専門性を持っている人も含めて協力していければ一番いいのかなと、思います。その他、ご意見はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>委員長の事例発表の中で、独立採算という説明があったかと思いますが、基本的には、入園料については熊本市動植物園とものすごく差があると思いますが、基本的には寄附で賄われているのでしょうか。</p>
委員長	<p>そうですね。ドネーションがかなり多いです。やはり文化が違うところがあります。</p>

委員	<p>ですから、素案P58のところに、動物サポーター制度の見直しで整備基金の設置を検討しますと掲げられていますので、可能であれば設置して頂ければと思いますし、個人だけでなく企業向けにも積極的に取り組んでもらえればと思います。</p>
委員長	<p>寄附の集め方として、入園料を支払う際に、寄附を拒まなければ、自動的に寄附が加算される仕組みになっています。寄附の集め方も、かなり工夫されている状況です。あとは、教育プログラムの後に、「こういう目的に使用しますからと、寄附をください。」という説明をされていました。なので、何もしなくても集まるという状況ではありませんでした。少し話がそれるかもしれませんが、企業のネーミングライツのようなものは含まれているのでしょうか。</p>
事務局	<p>そのようなことも踏まえて、今後検討を行いたいと考えておりますが、ネーミングライツに関して言えば、すでに実施している園もあります。やはり個人だけの寄附では、賄っていくことは厳しいと思いますので、法人の方のご協力についても考えていかなければならないのかなと思っております。</p>
委員長	<p>あと、事例紹介で紹介しきれなかったところがありますが、ただ動物の半分は見る事ができません。陰に隠れているだとか、バックヤードに入っているなどで。あと、パドックの中はかなり木が生い茂っています。近年それを日本でも導入しているところがあります。熊本市動植物園においても、ホッキョクグマをパドックとバックヤードの通路を開放していますが、それ以上に、木が生い茂っていて、1日に1回10分程度しか見る事ができない動物がいたりします。それでも、スタッフに話を聞くと、「動物の福祉は基本だから。それは普通です。」という話をされます。あくまでもこれは、動物が活動的に動いて、よりお客さんが楽しめることや、動物のためになることでもある。ということをしっかり説明することによって、そういう楽しみ方もできるのではないかと思います。</p>

委員	<p>動物園は動物を見るところというだけで、来られているお客さんも多いので、そういう取り組みは、すごく重要だと思います。</p>
副委員長	<p>例えば、動物の行動そのものを、きちんとレクチャーして、その後に実際の動物を見ることができればいいと思います。以前この場でお話ししましたが、今は獣医師がいろんなレクチャーにかかりつきりになっている状態です。だから、動物や植物の学芸員を確保する必要があると思います。そういうことを教育施設として、市が予算を確保することが大事だと思います。</p>
委員長	<p>今、副委員長もおっしゃられていましたが、プログラムを監修したりする完全な専門家というのが、スコットランドにはいてすごいなと思いました。きちんとドクターの資格を取ったうえで、レクチャーに関する勉強もするなど、きちんとシステムが出来上がっていました。そこまでいかにしても、専門家が顔をだすことができるような、動植物園にしていくというのが必要ではないかと思います。</p>
委員	<p>熊本には専門家の方はどのくらいいらっしゃるのでしょうか。</p>
委員長	<p>一応私も専門家ではありますが、当然博物館にもいらっしゃいますし、森林総研という国の施設や、大学にも当然いらっしゃると思います。博士号を取ったり、修士号を取ったりしても、特に専門的な仕事につかずに、仕事に使わないという方もいるので、潜在的に見れば、専門家は結構いらっしゃるのかなと思いますので、うまく関わってもらえれば、いい気がしています。</p>
副委員長	<p>もうすぐ、熊本県の保護上重要な希少野生動植物レッドデータブックの改訂をいたします。これには、哺乳類から鳥類、魚類それぞれの専門家が全部原稿を書いております。そういう人たちは、今おっしゃったような、専門的知</p>

副委員長	<p>識を持っていると思います。</p> <p>熊本市動植物園では、以前、高校生が、獣医師になるためにということで、4～5名来られて、どういう仕事内容なのか、どういう勉強が必要かなど聞きにこられたことがありました。こういう事例を園の主催でできるようになれば、いろんな取り組みができると思います。</p>
委員長	<p>おそらく、今実施しているプログラムも、1つだけでなく、いくつも並べてホームページで公開することができるような気がします。そのあたりをこの議論を踏まえて、もう少し膨らみを持たせていただくと、それこそ広報の材料にもなると思いますので。</p> <p>このあと、お一人ずつ感想などを頂こうと思いますが、よろしいでしょうか。では、副委員長からよろしいでしょうか。</p>
副委員長	<p>動植物園の新しい再編計画を定めたマスタープランの検討に参加させて頂いて、いろいろ私自身も勉強になりました。ありがとうございます。先ほど、市の4課で連携して、いろいろ検討をしているということをおっしゃられていましたが、それが非常に大事なことだと思います。どうしても役所は縦割りの行政ですから、横がきちっとつながって、特に環境共生課の生物多様性戦略をつくり上げていきますから、それを水前寺江津湖公園に広げるということは、大事なことだと思います。それと、パブリックコメントで、日本の在来種だけでなく外来種の展示もということが出てきていましたが、このあたりでどれだけ外来種が増えてきたかということも、調べられるのではないかと思います。何年も前から、江津湖研究会などの団体が実施している、自然観察や資料などが残っていますので、以前の状況とも比較ができるのではないかと思います。そういう取り組みが、市民へのPRにつながると思います。今後とも、お手伝いできることは、お手伝いしますので、皆様と一緒により良い動植物園になるように努力ができればと思います。ありがとうございました。</p>

委員	<p>私は、今年度から携わらせて頂いているのですが、私の場合は、自然そのものを相手にした仕事をしていますが、やはり動植物園のこれまでの役割というものが、年々変わってきている状態だと思います。種の保存や環境教育の役割など、いろいろあると思いますが、やはり一番大切なのは、熊本市の動植物園が、熊本市民の心の拠り所になるような、動植物園になってほしいなということを念頭に、この熊本市動植物園に来園した子どもたちが、他のところに住居を構えた時に、熊本市が日本で一番だよと言われるように目指してもらいたいと、期待を込めて、頑張りたいと思います。</p>
委員	<p>私は、何も有識者ではなくて、ずっとここに来園させていただき、利用者でしかなかったのですが、「優しさと魅力あふれる動植物園づくり」のところで、ご意見を言えたらと思いながら、参加させていただきました。動物の福祉のことも、すごく勉強させていただいたのですが、人間にとっても、みんなが来園しやすい動植物園をつくって頂けたらなと思います。また、この10年後、私の子どもも大人になってしまいますが、またみんなで行きたい動植物園になるように、期待しています。</p>
委員	<p>私の方では、他の委員の方とは違って、計数的なことをご意見させていただいたのですが、最後をお願いしたいことが、10年間のマスタープランをせつかく作られますので、今後PDCAサイクルで進捗管理をされると思いますが、特にチェックの部分ですね。公の施設は、私が時々拝見することがありますが、チェックの部分が疎かになることが多いと思いますので、今後10年間チェックの部分をしっかりして頂いて、必要であれば、計画の修正をして頂いて、極力計画の達成に向けて、努力をして頂きたいと思っております。あと、動植物園の位置づけに関しましては、皆さんいろいろお考えはあると思いますが、現状では、費用が10億で、一般財源の負担が7億ほど出ておりますので、この点に関しましても、関係者の皆様で常に留意をして頂</p>

委員	<p>ければと思います。</p> <p>私はだいぶ前に、全国動物園ランキングという記事を見て、熊本市動植物園がすごく最下位に近いことがあったので、ものすごく悔しかったです。それで、悔しいのと悲しいのとあって、何とか上位にいかないものかと、ずっと思っていたのですが、ただの来園者だからできなかったのですが、熊本地震の後に、こういう会がうまれて、お声がかかったので、少しはお手伝いができることがあったので、本当に感謝しています。ありがとうございました。やはり、誇れる動植物園になってほしいという気持ちがものすごくあるので、それと、来るのが楽しいところ、それがやはり一番だと思います。前は、来ると悲しかったです。なので、それがなくなることを祈っています。</p>
委員	<p>この2年間、意見聴取委員会に参加させて頂いて、いろんなことを勉強させていただきましたし、委員として、市民としての意見を考えるときに、どういったものがこの熊本市動植物園にとって必要なのだろうかとか、すごく考えさせて頂いた機会だったと思っています。やはりこのマスタープランというのは、ここからがスタートになると思いますので、100周年の時に、この10年間でほんとに、実りのあるものになってほしいなと思います。この10年後という時を見たときに、ちょうど水前寺江津湖公園利活用保全計画も同時期に立ち上がってきますし、あとは、全国都市緑化くまもとフェアも開催されますので、かなり江津湖というところが、注目を集め、日々進化していくところになると思いますので、計画の進捗状況や、計画に則って事業を進めていくことを、園の皆さんが誇りに思って、発信して頂きたいなと思います。あと、広報というところは、私の専門分野になるのですが、この2年間震災後ということもあって、かなり注目を集めていた期間であったと思いますけれども、インターネット上で、かなり多くの投稿や意見を見させて頂きましたが、もっと積極的に、美しい写真を撮って、それが生きがいのように発信していらっしゃる方もいますので、市民自らが、発信して頂いている</p>

委員長	<p>ところが、すごくありがたいなと思います。そういった方々の力というものも、借りていく必要があるのではないかなと思います。2年間関わらせて頂いて、ありがとうございました。</p> <p>皆様ありがとうございました。それでは、最後に総括をさせて頂こうと思います。</p>
-----	---

(6) 総括

委員長

このマスタープランは、現状で考えられるもので一番いいものができていると思います。チェックを実施して行くことが大事で、お金の面もちろんそうだと思いますし、恐らく日本や世界の動物園というものが、年々どんどん変わっています。

世の中の動きがどんどん変わっていく中で、このマスタープランも、必ず確認を行いながら、変えるところは変えて、達成できないところは、その手法を考えていくことが必要なのかなと思います。

どうしてもこのマスタープランの中身が、ハードがすごく注目されてしまいがちですが、皆様の感想を聞くと、ハードの話はほとんど出てきていませんでした。やはりソフトの充実というものが、まず大事だろうと思います。スタッフがガッツで何とかしましょうというところがあったりしますので、それは良くないと思います。しっかりソフトを充実して、更にはそれをカバーするハードを作っていくということが大事なのではないかと思います。皆様のお話を聞いて、そこを強く思いました。ソフト面の充実というものに関しては、マスタープラン自体は、非常にいいものがあったという風を感じておりますので、すごく期待していきたいと思います。この7人の委員が、ずっとこの先も動植物園を見守らせて頂きますので、この計画をしっかり進めて頂けたらと思います。皆様、どうもありがとうございました。